

JSL 日本語学習者の漢字学習に対する意識

－ JSL 日本語学習者へのアンケート調査を通じて－

ブシマキナ・アナスタシア^{※1}

要 旨

本稿は、JSL^{※2}日本語学習者（以降、JSL 学習者と略記）を対象にした漢字学習についてのピリーフ調査の報告である。漢字圏日本語学習者（以降、漢字圏学習者と略記）と非漢字圏日本語学習者（以降、非漢字圏学習者と略記）の漢字学習に対する意識の違いを探るため、アンケート調査を行った。調査の結果、漢字圏、非漢字圏を問わず、日本語学習者は漢字学習には記憶力と反復練習が必要不可欠であり、努力すれば漢字が得意になれるという考え方を持っている。また、漢字圏、非漢字圏を問わず、漢字学習が日本語学習全体に欠かせないものであるため、漢字の読み書きが得意になりたいという意識も見られた。非漢字圏学習者の漢字学習への期待は様々であることが分かったが、漢字圏学習者の具体的期待については、このアンケートだけでは十分に探ることができなかつたので今後の課題として残った。

【キーワード】 漢字圏、非漢字圏、ピリーフ

I 問題の背景と本研究の目的

1. 問題の背景

非漢字圏出身の JSL 学習者にとって、漢字は最も難しい項目の一つであることはよく指摘されている（海保&ハットトワ2001）。また、漢字圏出身にとっても日本語の漢字の読みや、漢字語彙の使用法の習得は困難点の一つである。日本の大学では実施されている外国人留学生のための漢字クラスは、漢字圏と非漢字圏の学習者が同じクラスを履修する場合が多い。このような状況に置かれた教師も、学習者も、様々な問題に遭遇することが予想される。

2. 本調査の目的

漢字圏学習者と非漢字圏学習者は、漢字を学習する際、漢字のどんな特徴を難しい

と感じているのか、またどんな学習方法が漢字学習に効果的だと思っているか、異なる背景のJSL学習者の漢字学習目的はどのように違うかを明らかにしていくことで、漢字学習の指導の際の注意点を探るための基礎資料を作成することが本調査の目的である。

そこで、本調査では、以下の項目について、アンケート形式で調査を行い、漢字圏学習者および非漢字圏学習者のそれぞれの意識の違いを明らかにしようとして試みた。

(1)漢字に対して難しいと感じている点、(2)漢字学習の目的、(3)漢字学習の指導と学習者の自律性^{注3}に対する意識、(4)適切だと思っている漢字学習方法

II 調査対象者と方法

調査として、JSL学習者を対象にアンケート調査を行った。以下に詳細を述べる。

1. 調査対象者のプロフィール

本調査は、2011年2月に、金沢大学留学生センター総合日本語プログラムの漢字クラスを受けている外国人留学生を対象に実施した。2010年度秋学期の最後の週に実施し、回答の得られた質問紙は、16の国や地域から来た留学生（インドネシア5名、タイ12名、ベトナム9名、モンゴル2名、韓国4名、中国33名、台湾2名、香港1名、米国8名、英国2名、ドイツ2名、フランス1名、フィンランド1名、ポーランド1名、ロシア2名、ブラジル1名）、合計86名であった。調査対象者のプロフィールを次の表1に示した。

表1 調査対象者のプロフィール

国（漢字圏／非漢字圏） ^{注4}	性別	平均年齢	日本語カレベル ^{注5}
漢字圏 36人	男性 35人	24歳	初級 37人
非漢字圏 50人	女性 51人		中級 30人
合計 86人	86人		上級 19人
			86人

2. アンケートの内容

上に示したJSL学習者を対象に、質問紙によるアンケート調査を実施した。内容は、「あなた自身について」と「あなたの漢字学習についてのビリーフ」からなっている。アンケートの説明文及び質問項目は日本語（振り仮名付き）、英語、中国語、ベトナム語、ロシア語、5ヶ国語版を使用し、調査を実施した際、学習者は自分の判断で自分にとって答えやすい言語版を選んだ。

JSL 学習者のビリーフについての質問項目作成時には、Horwitz (1988) の Beliefs About Language Learning Inventory : BALLI を参照した。

本調査に用いたアンケートを作成した際、1) 漢字学習の難易度についてのビリーフ、2) 漢字学習適性についてのビリーフ、3) 漢字学習の性質についてのビリーフ、4) 漢字学習の動機と期待、5) 自習学習と漢字学習の指導という 5 つのテーマを設定し、各テーマ内に複数の質問項目を設けた。回答者には、合わせて 45 項目の選択式質問項目について、あてはまる、ややあてはまる、どちらでもない、ややあてはまらない、あてはまらないの 5 段階で評定してもらった^{注 6}。さらにアンケートの最後に、「コメントやこれから漢字の学習を始める人にアドバイスがあったら、書いてください」という項目を設け、自由記述形式で答えてもらった。

III 調査の結果

調査の結果について、上記に示したビリーフのカテゴリーごとの結果を報告する。さらに、自由記述に記されたコメントについてもまとめて報告する。

1. 漢字学習の難易度についてのビリーフ

このカテゴリーのビリーフについての平均値、標準偏差及び P 値を表 2 にまとめた。

表 2 「漢字学習難易度」の平均値及び t 検定の結果

項目番号	内 容	平均値 (標準偏差)		P 値
		漢字圏	非漢字圏	
B2	漢字の習得はやさしい。	3.75 (1.05)	2.36 (1.06)	0.000**
B4	漢字は簡単だ。	3.31 (1.26)	2.16 (0.93)	0.000**
B6	漢字の書きが難しい。	2.39 (1.18)	3.78 (1.00)	0.000**
B7	漢字の読みが難しい。	3.61 (1.05)	3.70 (1.02)	0.694
B11	漢字の意味の理解が難しい。	2.31 (0.98)	2.98 (1.02)	0.003**
B25	漢字の読みより書きのほうが難しい。	2.58 (1.40)	3.96 (1.23)	0.000**
B26	漢字の使い分けが難しい。	4.03 (1.00)	4.20 (0.86)	0.394
B27	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	2.92 (0.84)	3.38 (1.11)	0.038*

**p<.01, * p<.05

上記の表 2 の結果は、漢字圏学習者と非漢字圏学習者の漢字学習の難易度についての意識を示した。

このカテゴリーの結果では、漢字圏学習者と非漢字圏学習者の意識の違いが明確に表れた。

非漢字圏学習者は、B2「漢字の習得はやさしい」とB4「漢字は簡単だ」のピリーフに否定的な回答をしている（平均値はB2では2.36、B4では2.16）のに対し、漢字圏学習者は肯定的に捉えている（平均値はB2では3.75、B4では3.31）という結果が見られた。B2とB4の両方のピリーフは、t検定の結果 $P = .000$ であり、差は有意である。このように、非漢字圏学習者は漢字圏学習者より漢字の学習自体を難しいと感じている。

漢字の書きに関して、B6「漢字の書きが難しい」では、非漢字圏の平均値が3.78であり、漢字圏の2.39より高かった（ $P = .000$ ）。また、B25「漢字の読みより書きのほうに難しい」の結果、非漢字圏の平均値は3.96であり、非漢字圏学習者はこの考え方に賛成していることが分かった。t検定の結果、漢字圏と非漢字圏の平均値の差は有意であった（ $P = .000$ ）。この結果から非漢字圏学習者は、漢字圏学習者より漢字の書きを難しいと感じていると言える。

漢字の意味の理解について、B11「漢字の意味の理解が難しい」の平均値は、漢字圏では2.31で、非漢字圏では2.98であり、漢字圏より非漢字圏のほうがこの考え方を肯定していることが分かった。（ $P = 0.003$ ）。

漢字の読みについて、B7「漢字の読みが難しい」の平均値を比較した結果、漢字圏（3.61）と非漢字圏（3.70）では有意な差は見られなかった。

漢字の使い分けについて、B26「漢字の使い分けが難しい」の平均値は、漢字圏と非漢字圏の両方のグループでは最も高く（漢字圏では4.03；非漢字圏では4.20）、漢字圏学習者も非漢字圏学習者もこのピリーフを持つという結果が得られた。母語別の差はなく、JSL学習者は漢字の使い分けが困難だと感じていることが分かった。

2. 漢字学習適性についてのピリーフ

このカテゴリーのピリーフについての平均値、標準偏差及びP値を表3にまとめた。

表3 「漢字学習適性」の平均値及びt検定の結果（漢字圏／非漢字圏）

項目番号	内 容	平均値平均値（標準偏差）		P 値
		漢字圏	非漢字圏	
B1	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	2.67 (1.15)	2.80 (1.25)	0.614
B3	私の国の人は漢字を学ぶのが上手だ。	3.92 (1.12)	2.18 (0.90)	0.000**
B8	漢字は、非漢字圏より漢字圏の人のほうが習得しやすい。	4.42 (1.03)	4.72 (0.67)	0.101
B10	いろいろな物事をカテゴリー化して捉えることが得意な人は漢字が得意だ。	2.78 (1.10)	3.52 (0.84)	0.001**
B19	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	3.61 (0.90)	4.00 (0.88)	0.050*
B24	漢字は記憶力が必要だ。	4.50 (0.61)	4.46 (0.79)	0.800
B31	会話が得意な人は漢字も得意だ。	2.22 (0.90)	2.40 (0.99)	0.396

** $p < .01$, * $p < .05$

表3の結果は、漢字圏学習者と非漢字圏学習者の漢字学習への適性についての意識を示した。

漢字学習と出身国の関係について、B8「漢字は、非漢字圏より漢字圏の人のほうが習得しやすい」という項目の平均値はどのグループも高かった（漢字圏では4.42、非漢字圏では4.70）。また、B3「私の国の人は漢字を学ぶのが上手だ」という項目の平均値は非漢字圏では2.18、漢字圏では3.92であり、この差は有意であるという結果が得られた（ $P = .000$ ）。このように、漢字圏学習者も、非漢字圏学習者も、漢字圏出身者のほうが漢字の習得がしやすいという考え方をしていることが分かる。

漢字学習には、何が必要であるかのピリーフについて、以下の結果が得られた。

B24「漢字は記憶力が必要だ」という項目の平均値は、漢字圏と非漢字圏共に高く（漢字圏では4.50、非漢字圏では4.46）、漢字圏、非漢字圏を問わず、漢字習得には記憶力が必要と考える学習者が多いことがうかがえる。漢字習得と絵や図を描くことの関係（B1）、あるいは会話との関係（B31）については、学習者は否定的にとらえていることが分かる。

一方、B10「いろいろな物事をカテゴリー化して捉えることが得意な人は漢字が得意だ」という項目では、漢字圏より非漢字圏のほうが平均値が高かった（漢字圏2.78、非漢字圏3.52、 $P = 0.001$ ）。

3. 漢字学習の性質についてのピリーフ

このカテゴリーのピリーフについての平均値、標準偏差及びP値を表4にまとめた。

表4 「漢字学習の性質」の平均値及びt検定の結果（漢字圏／非漢字圏）

項目番号	内 容	平均値 (標準偏差)		P 値
		漢字圏	非漢字圏	
B5	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	4.00 (1.29)	3.60 (1.07)	0.120
B9	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	3.36 (1.33)	3.90 (3.06)	0.040*
B12	漢字学習は時間がかかる。	2.89 (1.28)	4.36 (0.75)	0.000**
B13	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	3.64 (1.07)	4.00 (1.07)	0.127
B15	教師がいないと、漢字の学習はできない。	2.22 (1.17)	2.66 (1.19)	0.094
B16	漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。	3.22 (1.25)	3.28 (1.18)	0.827
B17	漢字の起源（成り立ち）の理解が必要だ。	3.33 (1.15)	3.44 (0.99)	0.646
B18	漢字学習には反復練習が欠かせない。	4.44 (0.65)	4.10 (1.09)	0.096
B20	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4.78 (0.49)	4.50 (0.69)	0.039*
B28	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	4.08 (1.00)	3.92 (0.85)	0.417

B29	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	3.33 (1.04)	4.16 (0.77)	0.000**
B30	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の使用の規則を理解することである。	3.78 (0.90)	3.80 (0.83)	0.906
B32	すべての漢字が書ける必要はない。	3.56 (0.97)	3.48 (1.13)	0.764
B33	すべての漢字が読める必要はない。	2.47 (1.25)	2.76 (1.27)	0.300

**p<.01, * p<.05

上記の表4の結果は、漢字圏学習者と非漢字圏学習者の漢字学習の性質についての意識を示した。

漢字学習で重要な要素とは何かについて尋ねたところ、B18「漢字学習には反復練習が欠かせない。」という項目の平均値は、どのグループも高く（漢字圏では4.44、非漢字圏では4.10）、漢字圏学習者も、非漢字圏学習者もこのピリーフを持っていることが分かった。また、B20「努力すれば、誰でも漢字が得意になれる」というピリーフも、漢字圏も非漢字圏も平均値が高かった（漢字圏では4.78、非漢字圏では4.50）。教師の役割について、どのグループもB15「教師がいないと漢字の学習ができない」という項目の平均値は低かった（漢字圏では2.22、非漢字圏では2.66）。

B12「漢字学習は時間がかかる」という項目の平均値は漢字圏では2.89、非漢字圏では4.36であり、この差は有意であるという結果が得られた（ $P = .000$ ）。このように、非漢字圏は、漢字圏出身者より漢字学習に時間が必要であるという考え方を持っていることが分かる。また、B29「漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである」という項目の平均値は、漢字圏では3.33、非漢字圏では4.16であり、この差は有意であるという結果が得られた（ $P = .000$ ）。このように、非漢字圏学習者は、漢字圏出身者より漢字の意味を覚えることが重要であると考えているようである。

4. 漢字学習への動機と期待についてのピリーフ

このカテゴリーのピリーフについての平均値、標準偏差及びP値を表5にまとめた。

表5 「漢字学習への動機と期待」の平均値及びt検定の結果（漢字圏／非漢字圏）

項目番号	内 容	平均値（標準偏差）		P 値
		漢字圏	非漢字圏	
B14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから、漢字を勉強している。	2.33 (1.12)	4.00 (1.13)	0.000**
B34	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。	2.36 (1.10)	3.12 (1.37)	0.007**
B35	日本語のウェブ・ページが読めるようになりたいから、漢字を勉強したい。	2.41 (1.13)	3.70 (1.25)	0.000**
B36	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	2.80 (1.22)	3.56 (1.16)	0.005**

B37	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	2.41 (0.97)	4.22 (0.89)	0.000**
B38	漢字の読み書きが上手になりたい。	4.69 (0.62)	4.52 (0.70)	0.240
B39	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。	2.92 (1.20)	4.40 (0.95)	0.000**

**p<.01, * p<.05

上記の表 5 の結果は、漢字圏学習者と非漢字圏学習者の漢字学習への動機と期待を示した。

B38「漢字の読み書きが上手になりたい」という項目の平均値はどのグループも高く(漢字圏では4.69, 非漢字圏では4.52), 漢字圏, 非漢字圏を問わずこの考え方に賛成しているという結果が得られた。

一方, このカテゴリーの結果では, 漢字圏と非漢字圏の学習者の意識の違いが明確に表れた。非漢字圏学習者は, B14「日本語の新聞や本が読めるようになりたいから, 漢字を勉強している」, B37「専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい」, B39「日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している」というピリーフを持つ(平均値は B14では4.00, B37では4.22, B39では4.40)のに対し, 漢字圏学習者はこれらの項目を意識していない(平均値は B14では2.33, B37では2.41, B39では2.92)という結果が得られた。t検定の結果, 漢字圏と非漢字圏の平均値の差は有意であった ($P = .000$)。

漢字学習と日本語のインターネットの使用について, B35「日本語のウェブ・ページが読めるようになりたいから, 漢字を勉強したい」という項目の平均値は, 非漢字圏では3.70, 漢字圏では2.14であり, この差は有意であるということが分かった ($P = .000$)。

5. 漢字学習の自律についてのピリーフ

このカテゴリーのピリーフについての平均値, 標準偏差及びP値を表6にまとめた。

表6 「自習及び漢字学習の指導」の平均値及びt検定の結果(漢字圏/非漢字圏)

項目番号	内 容	平均値(標準偏差)		P 値
		漢字圏	非漢字圏	
B21	授業以外でも漢字の自習が必要だ。	4.47 (0.65)	4.30 (0.76)	0.277
B22	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	3.67 (0.89)	4.22 (0.93)	0.007**
B23	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3.20 (0.79)	3.22 (1.28)	0.916
B40	漢字の教科書がないと学習ができない。	2.31 (1.06)	3.70 (1.36)	0.000**

B41	学習者同士で漢字の学習方法を相談するとよい。	3.81 (0.89)	3.88 (0.80)	0.685
B42	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	2.89 (0.92)	3.10 (1.15)	0.364
B43	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。	3.08 (1.03)	3.22 (1.09)	0.559
B44	自分で学習内容を決めるのは、効果的ではない。	2.36 (0.93)	2.72 (1.09)	0.113
B45	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	2.39 (0.84)	2.02 (0.96)	0.067

**p<.01, * p<.05

上記の表 6 の結果は、漢字圏学習者と非漢字圏学習者の漢字学習の際の自習と漢字授業についての意識を示した。

漢字学習の際の自習の必要性について尋ねたところ、B21「授業以外でも漢字の自習が必要だ」という項目の平均値は、どのグループも高く（漢字圏では4.47、非漢字圏では4.30）、漢字圏、非漢字圏を問わず、自習を重視していることが分かった。

漢字学習の際の教科書の必要性に関して、B40「漢字の教科書がないと学習ができない」という項目では、非漢字圏は漢字圏より平均値が高く、この考え方に賛成するということが分かり（漢字圏では2.31、非漢字圏では3.70）、この差は有意であるという結果が得られた（ $P = .000$ ）。

漢字学習と教師の役割について尋ねたところ、B45「漢字学習では進歩がないのは、教師の教え方に責任がある」という項目の平均値は、どのグループも低く（漢字圏では2.39、非漢字圏では2.02）、漢字圏、非漢字圏を問わず、JSL 学習者はこの考え方を否定的にとらえていることが分かった。

漢字学習の際の学習者の自律性について、B44「自分で学習内容を決めるのが効果的ではない」という項目の平均値は、どのグループも低く（漢字圏では2.36、非漢字圏では2.72）、漢字圏学習者も、非漢字圏学習者も自分で学習内容を決めることは効果的だと思っている。一方、B22「自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である」という項目では、非漢字圏は漢字圏より平均値が高く、この考え方に賛成するということが分かった（漢字圏では3.67、非漢字圏では4.22、 $P = .007$ ）。

6. ビリーフの評定の結果のまとめ

調査の結果をまとめると、以下 1) ～ 5) のようになる。

- 1) 漢字学習の難易度について、漢字圏と非漢字圏の学習者の意識を比較した結果、非漢字圏のほうが漢字学習全体を難しいと感じていることが分かった。具体的な漢字の難点（書き、読み、意味の理解など）について、非漢字圏は、漢字圏より

漢字の書きと意味の理解が難しいと感じている。漢字の読みと使い分けに関しては、漢字圏と非漢字圏の有意な差は見られなかった。特に漢字の使い分けについて、漢字圏も、非漢字圏も難しいと考えていることが分かった。

- 2) 漢字学習への適性について、JSL 学習者は、漢字圏出身者のほうが漢字の習得がしやすいという考え方を持っている。また、漢字圏も、非漢字圏も、漢字学習には記憶力が必要不可欠であることを意識しているようである。一方、漢字学習の際に物事をカテゴリー化する能力は、漢字圏より非漢字圏のほうが大事だ思っているという結果となった。
- 3) 漢字学習の性質については、漢字圏学習者も、非漢字圏学習者も、漢字学習には反復練習が欠かせない、また努力すれば漢字が得意になれるという意識を持っている。
- 4) 漢字学習への動機と期待について、漢字圏、非漢字圏を問わず、漢字学習が日本語学習全体に欠かせないものであり、漢字の読み書きが得意になりたいという考え方があった。一方、具体的な漢字学習の目的について、非漢字圏は、日本での日常生活の中で必要な看板やお知らせの読みからはじまり、新聞や雑誌、専門書、日本語のインターネットが読めるようになるということまで、様々な目的を持っていることが浮かび上がった。
- 5) 漢字圏、非漢字圏を問わず、授業外の自習を重視していることが分かった。どのグループも自分で学習内容を決めることが効果的な学習方法であると思っているようである。一方、自分で学習方法や進度を決めることについて、非漢字圏のほうが効果的であると考えている。また、非漢字圏は、漢字圏に比べ、漢字の教科書に頼る傾向が見られた。

7. 漢字学習ストラテジーについての自由記述の結果

ここで、アンケートの最後に、「コメントやこれから漢字の学習を始める人にアドバイスがあったら、書いてください」という質問項目の結果をまとめる。

86人中39人（漢字圏21人、非漢字圏18人）がコメントを書いた。日本語以外の言語（英語、ロシア語、中国語、ベトナム語）で書かれたコメントは、日本語に訳し、全てのコメントを1) 漢字学習ストラテジー、2) 漢字学習教材と漢字授業、3) 漢字学習への動機づけ、という3つのテーマに分け、分析した。以下、学習者の具体的な記述を引用し、その結果を述べる。

1) 漢字学習ストラテジー

漢字圏も、非漢字圏の学習者も効果的な漢字学習方法として、反復練習、日本語を

たくさん読む、例文を作って文脈の中に漢字を使う、漢字の書き方をよく練習する、知らない漢字があったらインターネットや辞書などで調べる、などの具体的なストラテジーについて言及した記述が見られた(例1～例5)^{#7}。

例1) 繰り返し練習と復習が必要です。(K11)

例2) 一番大事なのは、とにかくたくさん日本語を読むことだと思う。漢字はたくさん使えば使うほどよく覚えられる。そう思う。(HK 6)

例3) やっぱり例文の中で勉強した方が、覚えやすいと思います。(K 6)

例4) 漢字の書き方を覚えるのがとても大切だと思いますので、工夫して、何回も書いて覚えてください。(HK 7)

例5) 知らない漢字があったら、是非辞書やネットや友だちなどから聞きましょう。作文やレポートを書くとき、できるだけ漢字を書きましょう。(K13)

また、どちらのグループにも、漢字学習時の自律を重視しており、定期的に復習する、毎日漢字を2つ3つぐらい覚える、自分に合った学習方法を見つけると言うストラテジーを勧めている記述があった(例6～例8)。

例6) 授業外にたくさんの練習と復習が必要です。(K20)

例7) 毎日新しい漢字を2つか3つぐらい勉強しよう。(中略)(HK 4)

例8) 自分に合った学習方法を見つけ出すと良い。例えば、私はいわゆる目型なので、漢字を見るだけで覚える。何回も書く、またはストーリーを作る(中略)人もいる。(HK13)

非漢字圏では、漢字の基礎(漢字には音読みと訓読みがあるということなど)を学ぶ、記憶を助けるストーリーを考える、新しい漢字を習う時それと関連の漢字も一緒に覚えるというアドバイスを書いた学習者がいた(例9～例10)。

例9) 最初は、漢字には訓読みと音読みがあるなど、規則を覚える。(HK 5)

例10) 最初は一番よく使われている「読み」を中心に勉強し、そして(またはそれと同時に)使い方に着目しよう。特に、上級の漢字の場合、いくつかの読みがあることが多いが、それぞれの読みを使った語彙と一緒に覚えると良い。復習、復習、復習! 部首を覚えて、記憶を助ける工夫も考えよう。(HK12)

漢字圏では、日本語の漢字を習う際の漢字圏特有な問題について言及している学習者がおり、日本語中国語の漢字の意味の違いや発音の問題に注意して練習することを勧めている。また、漢字圏では、非漢字圏の学習者にとっての困難点についても考え、漢字の書き方を練習することを勧めている学習者もいた(例11～例13)。

例11) 漢字圏の学生(特に中国人)は日本語の漢字を簡単だと思いがちだが、私は漢字圏の学生にとっても漢字は難しいと思う。なぜなら、日本語の漢字の意

味と中国語の漢字の意味とは間違えやすいので、それらの漢字の暗記が必要です。(K8)

例12) 漢字の発音、特に長音と短音をはっきりしなければならない。(K10)

例13) 非漢字圏の学習者にとって、漢字を書くことは一番難しいところだと思う。たくさん練習したほうがいい。(K21)

2) 漢字学習教材と漢字授業

漢字学習教材について、使ったほうが良いと思う具体的な教材名を書いた学習者がいた。漢字の授業について、批判的な声もあったが、全体的に出た方が良い、という意見が多かった。漢字の授業に出る際のストラテジー（予習と復習をすること、テストのための勉強の仕方、授業以外に漢字を使う）についてのアドバイスもみられた(例14～例16)。

例14) James Heisig の "Remembering the Kanji" は、使ってみるとよさそう。私自身はまだ使ったことないが、使おうと思っている。(HK 2)

例15) 私が知っている学習方法の中で、「あんき」という電子フラッシュカードのソフトが一番効果的だと思う。私自身は、反復やリスト、そして使っているテキストの練習問題などもよく使う。全体的に、一番効果的な漢字学習方法は、新しく習った漢字を作文、日常生活や読む練習などの中に使うことだと思う。(HK11)

例16) 毎日新しい漢字を2つか3つぐらい勉強しよう。そうすれば、テストの日に、ほとんどの漢字が分かっていることに気づく。また、(日本語の)本や文章を見つけて、その中のいくつかの漢字をピックアップして、その意味を推測してみ、本/文章の大体の意味が分かるかどうか試してみると良い。(HK 4)

3) 漢字学習への動機づけ

漢字学習について、最初は難しくても段々慣れてくるから頑張ってみよう、という励ましの言葉を書く学習者がいた。非漢字圏の学習者の一人は、漢字が分かれば、日本での生活に必要なことが分かるようになり、色々楽しくなるということを描き、難しくとも継続することの重要性について述べている。また、漢字の学習方法は人によって違うので、学習者の意識が大事であるという意見もあった(例17～例18)。

例17) 日本語の道路の標識などが読めたから道が分かった時は、この「できた!」という気持ちが励ましになる。バスの案内や、レストランのメニューなど理解できて嬉しい。漢字の勉強は難しそうに思っても、今の自分の努力の成果

を想像してみると、動機づけになる。(HK9)

例18) 漢字の学習方法は人によって違いますので、最も重要なことはぜひ是非覚える心です。そして、たくさんの場合の漢字を覚えて、分からないところは辞典で調べる。意識と心は大切なものです。(K19)

IV 考察

1. 漢字学習の性質：記憶力、反復練習、努力について

日常生活に漢字を使用しており、漢字に慣れ親しんできた漢字圏出身者が³、日本語の漢字学習を易しいと思うことは、直感的に誰でも予想できることである。アルファベット環境で育った非漢字圏学習者のほうが漢字学習全体が難しいと感じていること、また、非漢字圏は、漢字圏より漢字の書きと意味の理解が難しいと感じていることなどが、今回の調査であらためて、漢字圏出身者のほうが漢字を習得がしやすいということを意識していることがデータで裏付けられた。

漢字学習の性質についてのピリーフでは、学習者の多くが記憶力と反復練習を必要なものだとして評価していたが、この結果は以前からある一般的に広く使われている漢字学習方法を反映していると考えられる。最近では新しい漢字学習方法の提案がされることがあるが、その際にも、やはり記憶と反復に対する学習者のピリーフを考慮に入れるべきであろう。

一方、言語学習には記憶力が必要不可欠であるが、記憶力だけに頼る学習方法は学習者の負担を大きくし、学習への動機づけの阻害要因にもなると考えられる。今回の調査対象者は、漢字圏、非漢字圏を問わず、努力すれば誰でも漢字が得意になれるという考え方を持っていた。しかし、非漢字圏出身者と漢字圏出身者は、同じクラスで同じ内容を学習し、教師に同じことを欲求されている環境では、漢字圏出身者と非漢字圏出身者の努力の度合いには大きな差があることもうかがえる。中級レベルになると漢字語彙が増えてくるので、漢字圏学習者と非漢字圏学習者の学習進度に差が出てくるということはよく指摘されているが、これは非漢字圏学習者の努力の度合いにも左右される。ブシマキナ (2012) はロシアの大学で日本語を教えているロシア人日本語教師の漢字教育についてのインタビュー調査の結果を報告しているが、ロシア人日本語教師は、ロシア人学習者の漢字に対する苦手意識の問題を取り上げている。ブシマキナ (2012) は、ロシアの大学で実施されている学習者側の記憶力と努力に頼る漢字学習方法は漢字に対する苦手意識の原因になるのではないかと指摘している。ロシアの例に比べ、日本の大学で漢字を学んでいる非漢字圏学習者は、漢字学習へのモチ

バージョンの問題はそれほどは深刻でないかも知れないが、JSL 漢字学習の指導の際の注意点の一つになる可能性がある。

2. 漢字学習への動機

本調査の対象者は、全員漢字のクラスを履修している学習者であり、「日本語の読み書きが上手になる」という大きな目的を持っていることは当然である。一方、今回の調査では漢字圏学習者の具体的な動機や漢字学習への期待を見出すことができなかった。その原因の一つは、漢字圏学習者の漢字学習目的を反映する質問項目がなかったことであるのではないと思われる。漢字圏出身者であっても、漢字学習は、授業に出た方がよいと思っている学習者もいることが分かったので、漢字圏出身者のニーズを見出すためには、今後新たな調査が必要である。

また、非漢字圏学習者の漢字学習への期待は様々であることが分かったが、現在実施されている漢字の授業はその期待に込えているのかについての分析が必要であろう。それぞれのレベルの漢字授業の内容を決める際、学習漢字と漢字語彙の数や難易度に加え、具体的な学習者ニーズを想定することが求められる。

3. 漢字学習の指導と自律学習

筆者の担当する日本語プログラムでは、漢字の授業は、基本的には一週間に一回という制度になっており、授業外でも漢字の自習が必要という考え方は全員に共通し見られた。さらに、漢字圏、非漢字圏を問わず、単なる自習ではなく、「自分で学習内容を決めることが効果的である」というピリーフを持つ学習者が多かった。自由記述のコメントにも見られるように、学習者は自分にとっての良い方法を探すことを重視している。

自分で学習方法と進度を決めることを非漢字圏学習者のほうが高く評価しているが、一方で非漢字圏学習者は教科書に頼りがちな状況も見られた。これは漢字の知識や能力が不十分である中、とりあえず教科書を学習の中心に据えたいという気持ちの表れであるのではないかと思う。今後の漢字クラスにおける指導内容を検討する際には、自習や学習計画案の作成も含んだ形で行う必要があることや、学習者が教科書を重視することなどを考慮に入れるべきであろう。

V おわりに

以上の考察では、漢字を学習する際の JSL 日本語学習者にとっての、漢字圏と非漢字圏の学習者の意識の相違を見てきた。外国人留学生のための漢字クラスを担当する際、漢字圏と非漢字圏の学習者は同じクラスに置かれていても、それぞれのニーズや学習目的、難しいと感じている点、漢字学習指導についての意識が異なる。また、今回の調査では確認できなかった漢字圏学習者の漢字学習の具体的な目的について、今後の課題にしたい。

【謝辞】

本調査にご協力してくださった金沢大学留学生センターの松田真希子先生、一瀬美智子先生、河内由紀子先生、田中由紀子先生、藤田佐和子先生、八木真生先生、学生のみなさんに謝意を表します。また、アンケートの中国語訳とベトナム語訳、そして中国語とベトナム語で書かれた自由記述の日本語訳にご協力いただいた張楊さん、ポー・ティエ・バオ・アンさんに感謝を表します。

【注】

- 1 金沢大学留学生センター非常勤講師
- 2 JSL は「Japanese as a Second Language (第二言語としての日本語)」の略で、JSL 日本語学習者とは日本語が使用されている環境で日本語を学習している学習者を指す。
- 3 本研究における「自律学習」の定義は、宮崎 (2009) 「自身で学習の目標を決め、学習の計画を立て自己評価をすること」に従う。
- 4 漢字圏 (36名)：中国、台湾、香港の出身者；非漢字圏 (50名)：韓国、ベトナム、インドネシア、タイ、モンゴル、米国、英国、フランス、ドイツ、フィンランド、ポーランド、ロシア、ブラジルの出身者とした。なお、今回の調査に当たって、若い世代の韓国出身者は母国で十分な漢字教育を受けていないことがほとんどであるという理由で、韓国も非漢字圏に分類した。
- 5 当大学が実施する総合日本語プログラムのクラスは A (初級) から F (上級) までのレベルに分けられている。A と B レベルを初級、C と D レベルを中級、E と F レベルを上級と位置付けた。
- 6 資料 I を参照
- 7 K：漢字圏；HK：非漢字圏

【参考文献】

1. 海保博之、ハットトワ・ガヤトゥリ (2001) 「非漢字圏日本語学習者に対する効果的な漢字学習についての認知心理学からの提言」『筑波大学心理学研究』第23号 pp. 53-57
2. プシマキナ・アナスタシア (2011) 「ロシアの高等教育機関における漢字教育の現状とロシア人学生の漢字学習に対する意識－ビリーフ調査の結果から－」2011 (平成23年度) 第4回日本語教育学会研究集会 (福井県・福井大学) 発表要旨 <http://www.nkg.or.jp/kenkyu/kenkyushukai/2011/kk-11-04yoshi.pdf>

3. ブシマキナ・アナスタシア (2012) 「ロシア人日本語教師にとっての漢字指導と問題点－ロシア人日本語教師を対象としたインタビューを中心に」 日本語教育国際研究大会名古屋2012発表要旨
4. 宮崎里司 (2009) 「自律学習支援のためのタスクとストラテジー」 『タスクで伸ばす学習力－学習ストラテジーを活かした学びの設計』 伴紀子監修 宮崎里司 (編) pp.12-27
5. Horwitz, E. (1987) Surveying student beliefs about language learning. In A Wenden, and J.Rubin (eds.) *Learner Strategies in Language Learning* London: Prentice Hall

資料 I

漢字学習についてのアンケート調査

あなたの漢字学習についてのピリーフ

次の質問に対してあなたの考えにあてはまるかあてはまらないか、次の1～5の中から一つ選んでください。

- 1－あてはまらない, 2－ややあてはまらない, 3－どちらでもない, 4－ややあてはまる, 5－あてはまる
1. 絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 2. 漢字の習得はやさしい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 3. 私の国の人は漢字を学ぶのが上手だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 4. 漢字は簡単だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 5. 漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 6. 漢字の書きが難しい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 7. 漢字の読みが難しい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 8. 漢字は、非漢字圏より漢字圏の人のほうが習得しやすい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 9. 漢字が上手にならないと日本語が上達しない。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 10. いろいろな物事をカテゴリー化して捉えることが得意な人は漢字が得意だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 11. 漢字の意味の理解が難しい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 12. 漢字学習は時間がかかる。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 13. 漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 14. 日本語の新聞や本が読めるようになりたいから、漢字を勉強している。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 15. 教師がいないと、漢字の学習はできない。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 16. 漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 17. 漢字の起源 (成り立ち) の理解が必要だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 18. 漢字学習には反復練習が欠かせない。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 19. 学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 20. 努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 21. 授業以外でも漢字の自習が必要だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 22. 自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 23. 最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 24. 漢字は記憶力が必要だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 25. 漢字の読みより書きのほうが難しい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 26. 漢字の使い分けが難しい。(「はかる」:「図る」「測る」「計る」) 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 27. 漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
 28. 漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5

29. 漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
30. 漢字の学習で最も重要なのは、漢字の使用の規則を理解することである。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
31. 会話が得意な人は漢字も得意だ。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
32. すべての漢字が書ける必要はない。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
33. すべての漢字が読める必要はない。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
34. 日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
35. 日本語のウェブ・ページが読めるようになりたいから、漢字を勉強したい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
36. 漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
37. 専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
38. 漢字の読み書きが上手になりたい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
39. 日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
40. 漢字の教科書がないと学習ができない。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
41. 学習者同士で漢字の学習方法を相談するとよい。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
42. 漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
43. たとえ自分のやり方とは違っても教員のアドバイスに従う。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
44. 自分で学習内容を決めるのは、効果的ではない。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
45. 漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。 1 ___ 2 ___ 3 ___ 4 ___ 5
46. コメントやこれから漢字の学習を始める人にアドバイスがあったら、書いてください。

Attitudes to Kanji Learning of JSL Learners : From the Prospective of JSL Learners' questionnaire study

Anastasia Bushmakina

ABSTRACT

A questioner study has been conducted to find out the differences in beliefs about learning Kanji between Japanese learners from Kanji-area and non-Kanji area countries. The results show that learners from both groups believes, that memory abilities and drills are compulsory for learning kanji and that anyone can master kanji given the appropriate effort. Representatives of both groups also believe that Kanji learning is compulsory for learning Japanese in general, and all of them express a wish to master Kanji. Learners from non-Kanji countries presented various expectations towards Kanji learning, while the research was unable to find out particular goals that learners from Kanji countries put into Kanji learning.